

実験医学

増刊

2018年
Vol.36 No.5

広告掲載
のご案内

レドックス疾患学

—代謝シグナルバイオロジーの新たな展開と未来型医療 (仮題)

編集：赤池孝章 (東北大学大学院医学系研究科)、本橋ほづみ (東北大学加齢医学研究所)、
内田浩二 (東京大学大学院農学生命科学研究科)、末松 誠 (慶應義塾大学医学部)

関連技術・キーワード

- ◆シグナル伝達 ◆転写調節 ◆酸化還元 ◆環境毒性 ◆酸化ストレス ◆活性酸素
- ◆質量分析 ◆メタボローム ◆プロテオーム ◆イメージング …等

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、実験医学増刊『レドックス疾患学—代謝シグナルバイオロジーの新たな展開と未来型医療』(仮題)を右記内容にて発行いたします。つきましては、貴社の優秀な機器・試薬・書籍等の広告をぜひご掲載いただきたく、お願い申し上げます。ご出稿の特典として、羊土社ホームページに広告掲載会社のリストが掲載され、御社のホームページとリンクされますので、ぜひご覧ください。 敬具

広告掲載料金

掲載面	刷色	スペース	掲載料金
表紙4	4色	1P	300,000
表紙3	4色	1P	200,000
	1色	1P	150,000
表紙2	4色	1P	250,000
	1色	1P	170,000
中付※ (記事中)	4色	1P	150,000
	1色	1P	110,000
後付	4色	1P	150,000
	4色(ブリード)	1P	165,000
	1色	1P	90,000
	1色	1/2P	55,000
差込		1枚	200,000

- 写真修正・図案・版下・製版等は実費をいただきます。
- 価格には、消費税は含まれておりません。
- ご掲載の頁をご指定される場合は、一割増の料金を申し受けます。

※ご掲載の頁をご指定される場合、各箇所につき1頁まで(先着1社)とさせていただきます。

発行概要

- 発行部数 : 8,000部
- 発行日 : 2018年3月5日(月) 予定
- 広告申込概要 B5判オフセット印刷
 申込締切日……2018年1月24日(水)
 原稿締切日……2018年1月31日(水)
※日程は変更になる場合がございます
 ※広告の掲載内容を確認させていただく場合がございます

【モノクロ広告】データ※

1頁 ……天地 220 mm × 左右 150 mm
1/2頁 ……天地 105 mm × 左右 150 mm

【カラー広告】データ※

1頁 ……天地 220 mm × 左右 150 mm
ブリード版 ……天地 257 mm × 左右 182 mm
表紙4 ……天地 192 mm × 左右 150 mm
表紙4ブリード ……天地 202 mm × 左右 160 mm

※入稿形式(データの場合): Adobe Illustrator
使用したOSとソフトのバージョンをご明記下さい。
データは必ずアウトライン化して下さい

【発行元】株式会社 羊土社

〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-5-1
TEL 03-5282-1211 FAX 03-5282-1212
URL <http://www.yodosha.co.jp/>

【広告総代理店】株式会社 エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4
一ツ橋別館4F
TEL 03-3230-2744 FAX 03-3230-2479
E-mail: adinfo@aeplan.co.jp

広告掲載申込書

年 月 日

下記の通り、実験医学増刊『レドックス疾患学—代謝シグナルバイオロジーの新たな展開と未来型医療』(仮題)に広告掲載致します。

貴社名: _____ TEL: _____ FAX: _____

所在地: 〒 _____

担当者名: _____ 所属 _____ E-mail: _____

掲載場所: _____ 頁/枚 _____ 掲載料金: _____

支払方法: _____ 支払日: _____

本特集号の概要と企画背景

「活性酸素」「酸化ストレス」といえば「体の中の悪玉」といったイメージを持たれがちです。しかし近年、これらは必ずしも悪役ではなく、細胞内・細胞外の応答機構に役割を担うことが明らかとなっています。さらに最近では、活性酸素のみならず、窒素・炭素・硫黄など多彩な分子種が関連する「レドックス」(酸化還元)をキーワードとして生命科学の各分野で報告が相次いでいます。

本書はそれらの知見を「疾患」を共通の切り口としてまとめる試みです。がん・代謝性疾患(メタボリックシンドローム)・老化・感染症・神経変性疾患などの病態において、レドックス状態はどのように関わるのか? 診断や予防・治療にどのように活かせるのか? 各分野の第一人者より横断的に知見をご紹介いただくことで、未来の医療への礎を築くのが本書の目標です。この試みにぜひご協賛を賜りますよう、お願い申し上げます。

本書の
注目ポイント

1 **がん・生活習慣病・老化**をはじめ広範な疾患に関わるため、**広い分野の読者の注目を集めます**

2 **日本農芸化学会**(3/15~18、名古屋)をはじめ、**春の学会にて新刊として販売**いたします

関連する
過去の特集



2015年7月号
酸素シグナルが
細胞機能を揺り動かす!



2012年増刊号
活性酸素・ガス状分子による
恒常性制御と疾患



2009年増刊号
病態解明に迫る
活性酸素シグナルと酸化ストレス

👍 **さまざまな分野の研究者に御社の優れた製品をアピールするチャンスとして、ぜひご活用ください!**

レドックス疾患学

—代謝シグナルバイオロジーの新たな展開と未来型医療 (仮題)—

編集：赤池孝章 (東北大学大学院医学系研究科)、本橋ほづみ (東北大学加齢医学研究所)、
内田浩二 (東京大学大学院農学生命科学研究科)、末松 誠 (慶應義塾大学医学部)

＜序文＞	赤池孝章 (東北大学)
＜概論＞ レドックス疾患論	本橋ほづみ (東北大学)、赤池孝章 (東北大学)、 内田浩二 (東京大学)、末松 誠 (慶應義塾大学)

第1章 レドックスバイオロジーの新展開

I. 新たなレドックス応答分子と代謝シグナル制御

1) 活性イオウによる生体防御応答とエネルギー代謝・冬眠・休眠・老化	澤 智裕 (熊本大学)、赤池孝章 (東北大学)
2) 活性イオウとNOシグナル	渡邊泰男 (昭和薬科大学)、居原 秀 (大阪府立大学)
3) 活性イオウによるミトコンドリア機能制御	西田基宏 (生理学研究所、九州大学)
4) 生体金属とイオウの相互作用/金属とガスの相互作用	末松 誠、加部泰明 (慶應義塾大学)

II. レドックス応答と細胞機能制御

5) Noxによるレドックスシグナル制御	住本英樹 (九州大学)
6) レドックスチャンネル制御	森 泰生 (京都大学)
7) ASK1によるレドックスシグナル制御	松沢 厚 (東北大学)、一條秀憲 (東京大学)
8) 糖代謝とレドックス制御	久下周佐 (東北医科薬科大学)

III. レドックスとストレス応答

9) Keap1による親電子ストレス感知機構	鈴木隆史、山本雅之 (東北大学)
10) 酸化ストレスとタンパク質品質管理	潮田 亮 (京都産業大学)
11) チオレドキシシンファミリーとエネルギー代謝	久堀 徹 (東京工業大学)
12) セレニウム・チオレドキシシンによるレドックス制御	今井浩孝 (北里大学)

第2章 レドックスと疾患

1) Nrf2/ATF4と酸化ストレス関連疾患	伊東 健 (弘前大学)
2) レドックス環境毒性・エクスポゾームと疾患	熊谷嘉人 (筑波大学)

3) RNAイオウ編集と糖尿病	魏 范研、富澤一仁 (熊本大学)
4) セレノプロテインPによる酸化ストレス制御と糖尿病	斎藤芳郎 ¹ 、野口範子 ¹ 、御簾博文 ² 、篁 俊成 ² (同志社大学 ¹ /金沢大学 ²)
5) チオレドキシシン・Nox と心疾患	佐渡島純一 (Rutgers New Jersey Medical School)
6) レドックス性肺疾患	杉浦久敏、一ノ瀬正和 (東北大学)
7) NO、イオウ吸入療法の肺高血圧その他疾患への応用	市瀬 史 (Harvard Medical School)
8) レドックスと神経変性疾患	上原 孝 (岡山大学)
9) 酸化ストレス性消化管疾患	内藤裕二 (京都府立医科大学)
10) 酸化ストレスと塩基修復・発がん	中別府雄作 (九州大学)
11) レドックスとがん・鉄イオン関連疾患	豊國伸哉 (名古屋大学)
12) 環境ストレス応答と発がん制御	北村大志、本橋ほづみ (東北大学)
13) レドックスとがん進展	三木裕明 (大阪大学)
14) 酸化ストレスと腎障害	阿部高明 (東北大学)
15) 内耳の酸化障害とその防御機構	本蔵陽平、香取幸夫 (東北大学)
16) 難治性眼疾患と酸化ストレス	國方彦志、中澤 徹 (東北大学)
17) 骨代謝疾患における酸化ストレス病態	宮本洋一 (昭和大学)
18) 放射線障害と酸化ストレス病態	小野寺康仁 (北海道大学)

第3章 レドックスの検出手法, 応用など

1) 蛍光・発光レドックスイメージング	浦野泰照、花岡健二郎 (東京大学)
2) 活性酸素、酸化窒素、イオウ放出試薬の開発	中川彦彦 (名古屋市立大学)
3) 活性イオウメタボローム・イオウ代謝物とバイオマーカー	井田智章、西村 明 (東北大学)
4) 顕微質量レドックスイメージング	杉浦悠毅 (慶應義塾大学)
5) レドックス活性鉄・銅イオンイメージング	平山 祐、永澤秀子 (岐阜薬科大学)
6) レドックスセンサーと低酸素イメージング	南嶋洋司 (九州大学)、武田憲彦 (東京大学)
7) レドックス活性食品とタンパク質アダクトーム・疾患バイオマーカー	柴田貴広 (名古屋大学)、内田浩二 (東京大学)

続刊予定

2018年4月発行予定

骨格筋の恒常性と代謝・全身性の制御の最前線 (仮題)

編集／武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター)